

9/7/2010 letter

2010年9月7日

親愛なる友人達、

私の落度により、あなた方の心中に、苦痛と、不必要な苦しみをもたらしてしまった事を認め (acknowledge) たいと思います。私は、自分の行動に対し、深い自責の念に駆られています (a profound feeling of remorse) 。

この8月は、私がアメリカに来てからの50年目に当たります。この半世紀の間、私は世界中の人たちから多くを与えられてきました。(しかし)次第に、そのような親切を当然と思うような高慢さが、私の心の中に芽生えて行きました。その結果、他人の痛みを感じずる感受性が失われて行きました。今、過去を振り返って見ると、どんなに多くの人々の、私に向けられた、心と信頼を傷つけてきたのかを思い知ります (realize) 。どうか私の心からの謝罪を受け取ってください。

私の母は、私が仏門に進むことを最も励ましてくれた人でした。明日は、1986年9月8日に逝った、その母の命日です。母の(声無き)声を聞き、私は、私の渡米50周年を、禅スタディー・ソサエティー (Zen Studies Society) の住職を、2010年の臘八接心の最終日を以って、引退することによって迎える事を決意しました。

心中に一抹の寂しさはありますが、仏教僧侶として、私の修行への願は、まだ終りません。法の功績を保持し (to preserve the Dharma legacy) 、将来の指導者の教育を担保、そして私の自身の業を浄化する為に、私は進み続けます。

合掌

嶋野栄道